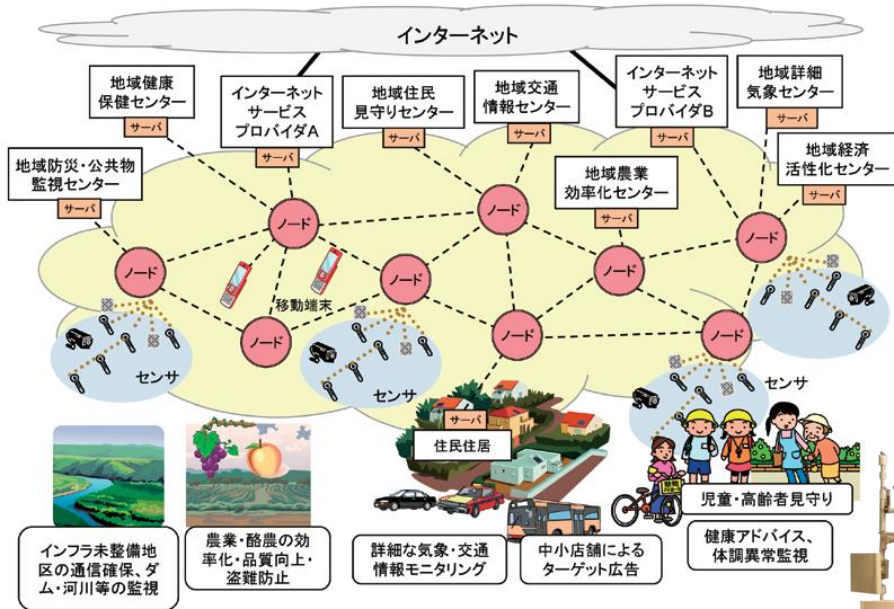


地域分散ネットワーク NerveNet(ナーブネット)

【概要】

- 基地局同士が自動的に相互接続する機能を持ち、災害時に一部のルートで障害が発生しても直ちに別のルートに切り替え、通信を確保する無線マルチホップ技術を用いた分散ネットワークとアプリケーションです。
- データを蓄積・同期する機能が各基地局内に備えられており、通信障害が発生しても、接続可能な基地局から必要な情報が得られます。
- 平常時は自治体やNPO等により、地域や住民が求める情報やサービスの提供など、地域振興のツールとして、また、イベント会場での仮設ネットワークなどへの活用も可能です。



図(上): 地域分散ネットワークNerveNetの構成と活用イメージ

写真(右): NerveNet基地局



【知財・関連情報】

- 特開2010-165112 「モバイル端末用センサー情報システム」 他7件
技術情報 「分散型無線アクセス網実験装置一式」 他17件
- 報道発表 [総合防災訓練においてデモを実施](#) 2011年10月
- NICT NEWS [地域社会と個人生活を豊かにするNerveNet](#) 2010年4月
- [ナシュア・ソリューションズ\(株\)](#)



NerveNet

ネットワーク研究所